

第68回都民体育大会バスケットボール競技 男子3回戦

5/17(日)東京体育館

足立区 対 あきる野市 戦評

今大会3回戦。2回戦で荒川区に勝利した、あきる野市との対戦となった。両チームとも終始マンツーマンディフェンス。第1ピリオドは完全に足立区のペースに思われたが、あきる野市は外からのシュートで徐々に流れを掴む。最後は1点差であきる野市に軍配が上がり、昨年優勝チームは3回戦で姿を消した。

第1ピリオドあきる野市ボール。お互い2本ずつシュートを外した後、足立区#11のインサイドの連続ゴールで好調な出だし。一方、あきる野市はバイオレーション、ファールが重なり厳しいスタートとなった。あきる野市#7のスリーポイントで応戦するが、足立区に中央でボールを奪われた後、アンスポーツマンライクファール。あきる野市はペースを掴めないまま23-15。足立区リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオドはあきる野市#12の連続得点、#7の連続スリーポイントで早々に逆転。4分経過の時点で足立区のチームファールは4つ。あきる野市の#15のバスケットカウントとスリーポイントで加点され、得点は34-42。足立区にとって今大会で最も苦しい展開となった。それでも、#11、#18のフリースローに助けられて得点は40-43。あきる野市に逆転されたまま前半終了。

第3ピリオドは足立区#16のスリーポイントからスタート。足立区は待望のスリーポイントが後半で最初に決まった。あきる野市はドライブインですぐに得点を返し、一進一退が続く。足立区は#17を投入し、ダブルチームでボールをインターセプト後、速攻で得点を重ねてチームに流れを引き寄せる。その後、足立区#15の連続3ゴールの活躍などでスコアを59-52とし、第3ピリオドは足立区が逆転に成功。

第4ピリオドはあきる野市がインサイドにボールを入れさせない対策を講じて足立区はインサイドから得点に繋がらない。タイムアウト後、あきる野市に流れが傾く。足立区ベンチからの声が一層高まる中、あきる野市#7が連続得点とスリーポイント。足立区は再び逆転されてしまう。足立区#16のスリーポイントで追いつく場面もあったが、最後はフリースローの応酬で72-73タイムアップ。今大会3回戦で惜敗した。